

【Access2024およびMicrosoft365】

2025/6/7

区分1	区分2	製品名	参考価格 (税込)	利用 台数	備考
個人 向け	永続版	Access 2024 [オンラインコード版]	【AMAZON】 税込22,370円	2	永続ライセンス。 単体製品。 購入後マイクロソフトアカウントでログインインストール。 対応OSはWin10以降、WinSvr2016以降。 1ユーザPC2台で利用可。
		Office Pro 2024 [オンラインコード版]	無し	2	※Office pro 2021の後継商品は販売されていません
	サブスク 版	Microsoft365 Personal 【1年版】 [オンラインコード版]	【AMAZON】 税込18,744円 (年額) 【Microsoftストア】 税込21,300円 (年額)	5	年間ライセンス。(旧商品名: Office365) スイート製品 (Word、Excel、PowerPoint、Outlook、Access他)。 常に最新版officeが利用可。 購入後マイクロソフトアカウントでログインインストール。 対応OSはWin10以降、WinSvr2016以降。 1ユーザPC5台で利用可。
		Microsoft365 Family 【1年版】 [オンラインコード版]	【AMAZON】 税込24,112円 (年額) 【Microsoftストア】 税込27,400円 (年額)	5 (30)	年間ライセンス。(旧商品名: Office365) スイート製品 (Word、Excel、PowerPoint、Outlook、Access他)。 常に最新版officeが利用可。 契約者アカウントによる利用者アカウントの登録が必要。 利用者アカウントでログインインストール。 対応OSはWin10以降、WinSvr2016以降。 契約者を含め最大6ユーザで利用できます。 1ユーザにつきPC5台で利用可。(最大30台)
		Office LTSC Professional Plus 2024	【Microsoft法人営業】 想定価格 100,000~150,000円 (税抜)	1	永続ライセンス。(旧商品カテゴリ: ホリュームライセンス) スイート製品 (Word、Excel、PowerPoint、Outlook、Access他)。 オンライン更新出来ない端末用に準備された製品。 (マイクロソフトはMicrosoft365を推奨している) ホリュームライセンス同様にダウングレード権が付いている。 インストール方法は複雑です。(多くは企業の情報システム部で利用) 対応OSはWin10以降、WinSvr2016以降。 1ライセンスPC1台で利用可。 個人向け商品との同居は不可。
	永続版				

法人向け	Office LTSC ACCESS 2024	【Microsoft法人営業】 想定価格 30,000~40,000円 (税抜)	1	永続ライセンス。(旧商品カテゴリ:ボリュームライセンス) 単体製品(Access) オンライン更新出来ない端末用に準備された製品。 (マイクロソフトはMicrosoft365を推奨している) ボリュームライセンス同様にダウングレード権が付いている。 インストール方法は複雑です。(多くは企業の情報システム部で利用) 対応OSはWin10以降、WinSvr2022以降。 1ライセンスPC1台で利用可。 個人向け商品との同居は不可。
	Microsoft365 Apps for Business	【Microsoftストア】 月額1,236円 (税抜)	5	年間ライセンス。 (商品詳細はマイクロソフトホームページ参照のこと) スイート製品(Word、Excel、PowerPoint、Outlook、Access他)。 常に最新版officeが利用可。 購入後インストーラをダウンロード。(多くは企業の情報システム部で利用) 対応OSはWin10以降、WinSvr2016以降。 1ユーザPC5台で利用可。
	Microsoft365 Business Standard	【Microsoftストア】 月額1,874円 (税抜)	5	年間ライセンス。 (商品詳細はマイクロソフトホームページ参照のこと) スイート製品(Word、Excel、PowerPoint、Outlook、Access他)。 常に最新版officeが利用可。 購入後インストーラをダウンロード。(多くは企業の情報システム部で利用) 対応OSはWin10以降、WinSvr2016以降。 1ユーザPC5台で利用可。
	Microsoft365 Business Premium	【Microsoftストア】 月額3,298円 (税抜)	5	年間ライセンス。 (商品詳細はマイクロソフトホームページ参照のこと) スイート製品(Word、Excel、PowerPoint、Outlook、Access他)。 常に最新版officeが利用可。 購入後インストーラをダウンロード。(多くは企業の情報システム部で利用) 対応OSはWin10以降、WinSvr2016以降。 1ユーザPC5台で利用可。

(1) WILLアプリサーバーは製品版ACCESSが必要です。WILLクライアントは無償版ACCESSランタイムでも利用可能です。

(2) OFFICE製品には永続版(スイート製品「Office…」・単体製品「ACCESS」等)とサブスク版「Microsoft365」の2種類あります。

(3) 「Microsoft365」にはACCESSが含まれています。

(4) 「Office Home & Business 2024」および「Office Home 2024」はAccessが含まれていません。WILLアプリサーバーでこれを利用される場合は「ACCESS単体」製品を追加購入して頂く必要があります。

(5) Microsoft365の個人向けと法人向けの違い

- ・価格面、機能面での違いはほとんどありません。一番大きな違いは「個人による管理」か「管理者による管理」です。
- ・個人向けの方がより簡単に利用できます。法人向けは企業の情報システム主導による利用を想定しています。
- ・企業は個人向け、法人向けのどちらでも購入できます。

(6) OFFICE2024プリインストール版にACCESS2024を追加する場合、事前にマイクロソフトアカウントで再インストールしておく必要があります。(ストアアプリ版⇒クイック実行版)※OFFICE2024プリインストール版が消える現象が多く報告されています。

(7) 法人向けサブスク版である「Microsoft 365 Business Basic」(月額:899円税抜)はAccessが利用できません。

(8) 法人向け永続版である「Office LTSC Professional Plus 2024」、「Office LTSC ACCESS 2024」はインストール手順が複雑です。企業の情報システム主導による利用を想定しています。

(9) 法人向け永続版である「Office LTSC ACCESS 2024」は、個人向けOffice製品(「Office Home & Business 2024」および「Office Home 2024」)との共存は出来ません。

(10)「Office LTSC Professional Plus 2024」は企業向けの商品で一般消費者向けには販売されていません。ネットショップ等で「非正規品」が格安で販売されているケースがありますがマイクロソフト社は「非正規品」を購入しないよう注意を促しています。

(※)価格は、「アマゾン」および「Microsoftストア」で2025/5/29に調査。